国土交通省

記者発表資料

震災復興
進もう！次の東北へ

令和４年３月２５日

国土交通省
東北地方整備局　福島河川国道事務所　郡山国道事務所
磐城国道事務所　三春ダム管理所
摺上川ダム管理所　小名浜港湾事務所
北陸地方整備局　阿賀野川河川事務所　阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係
令和４年度(2022年度)事業概要について

福島県内において国土交通省の実施する事業に関する
令和４年度(2022年度)の事業概要についてお知らせします。

〈事業のポイント〉

令和４年度国土交通省予算では、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり」を３本柱として、令和３年度補正予算と合わせて、切れ目なく取組を進めるために必要な予算が計上されたところです。

○ 東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設の整備等について地方公共団体と連携して着実に推進します。
また、東日本大震災の実情や教訓を伝えるための震災伝承に積極的に取り組むとともに、「３．１１伝承ロード」の形成を推進します。

○ 令和元年東日本台風（台風第１９号）からの復旧・復興に向け、インフラの整備を着実に推進します。

○ 気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を計画的に進めるとともに、インフラ老朽化対策等の持続可能なインフラメンテナンスの実現等も含め、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築します。加えて、通学路等の安全対策を推進します。

○ 社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大を図り、豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくりを推進するため、人流・物流を支える道路ネットワークの構築やその機能を最大限発揮するための渋滞対策等の推進、産業競争力強化のための港湾整備等を推進し、東北の強い地域経済を確立します。

○ 官民連携による建設業の担い手確保、新型コロナウイルス感染症対策を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上も含めたインフラ分野におけるＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の強力な推進など、「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の取り組みの浸透・定着化を図ります。

〈令和４年度　福島県内直轄事業当初予算〉　　（単位：百万円）

事業区分		Ｒ４年度予算	Ｒ３年度予算（参考）
河川関係事業費	国交省計上分	２，１９３	２，１４０
	計	２，１９３	２，１４０
道路関係事業費	国交省計上分	１４，３６３	１３，８８５
	計	１４，３６３	１３，８８５
港湾関係事業費	国交省計上分	１，２９９	１，２８０
	計	１，２９９	１，２８０

※上記金額は工事諸費等を除く金額で記載。
※上記金額は維持修繕関係事業費等を除く金額で記載。

〈発表記者クラブ〉

○福島県政記者クラブ　○福島市政記者クラブ　○郡山記者クラブ
○会津若松市記者クラブ　○いわき記者会　○いわき記者クラブ
○いわき市広報広聴課　○南相馬記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

○福島河川国道事務所　TEL 024-546-4331
副所長（河川）　中村（なかむら） 敏也（としや）　（内線204）
副所長（道路）　奥（おく） 豊（ゆたか）　（内線205）

○郡山国道事務所　TEL 024-946-0333
副所長（改築）　石井（いしい） 重好（しげよし）　（内線204）
副所長（管理）　佐藤（さとう） 幸喜（こうき）　（内線205）

○磐城国道事務所　TEL 0246-23-2211
副所長（改築）　雫石（しずくいし） 敏見（としみ）　（内線204）
副所長（管理）　板垣（いたがき） 浩美（ひろみ）　（内線205）

○三春ダム管理所　TEL 0247-62-3145
所長　白戸（しろと） 孝（こう）　（内線201）

○摺上川ダム管理所　TEL 024-596-1275
所長　三浦（みうら） 義昭（よしあき）　（内線201）

○小名浜港湾事務所　TEL 0246-53-7100
副所長　日向（ひなた） 幸紀（こうき）　（内線302）

◎国土交通省 北陸地方整備局

○阿賀野川河川事務所　TEL 0250-22-2211
副所長　松井（まつい） 渉（わたる）　（内線204）

○阿賀川河川事務所　TEL 0242-26-6441
副所長　佐藤（さとう） 利行（としゆき）　（内線204）

【令和4年度　福島県内　主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成予定 開通目標 年　度	R4事業費 （百万円）	R4事業内容	頁
●新規事業箇所							
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策 （薄葉交差点改良）	白河市	―	15	調査設計	P5
道路	直轄	国道13号　福島13号交通安全対策 （中野地区事故対策）	福島市	―	15	調査設計	P5
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策 （好間地区歩道整備）	いわき市	―	15	調査設計	P6
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝 （大黒町地区）	須賀川市	―	20	調査設計	―
道路	直轄	国道49号　福島49号電線共同溝 （富田地区）	郡山市	―	20	調査設計	P6
●完成・開通予定事業							
営繕	直轄	福島第2地方合同庁舎整備事業	福島市	R4	1,005	庁舎新営	P7
●主要継続事業							
河川	直轄	阿賀川　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井地区））	喜多方市	R7	（　409）	河道掘削、低水護岸、排水工	P8
河川 （砂防）	直轄	滝坂地区直轄地すべり対策事業	西会津町	R10	（　578）	集水ボーリング工、護岸工	P8
河川	直轄	阿武隈川水系 玉川村　乙字ヶ滝かわまちづくり	玉川村	R12	（　151）	親水護岸、 管理用通路　等	P9
河川	直轄	阿武隈川水系 桑折地区かわまちづくり	桑折町	R10	（　151）	高水敷整正、 坂路工　等	P9
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系 直轄砂防事業（塩の川第8砂防堰堤）	福島市	R5	（　890）	砂防堰堤工	P10
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系 直轄砂防事業（前川第1砂防堰堤）	福島市	R8	（　890）	砂防堰堤工	P10
（参考） 河川	直轄	阿武隈川上流　河川大規模災害関連事業	伊達市、桑折町、 国見町、福島市、 本宮市、郡山市、 須賀川市、玉川村、 鏡石町、　矢吹町	R10	5,626 （R3補正予算）	河道掘削 堤防整備 橋梁架替	P11
道路	直轄	国道4号　矢吹鏡石道路	矢吹町～ 鏡石町	―	100	調査設計	P11
道路	直轄	国道4号　伊達拡幅	伊達市～ 国見町	R5	880	調査設計、用地補償、支障物移転、改良・橋梁・舗装工事	P12
道路	直轄	国道6号　勿来バイパス	いわき市	―	3,100	調査設計、用地補償、支障物移転、改良・トンネル工事	P12

※　事業費の（　）の金額は、以下河川・水系単位の全体額

阿賀川水系（福島県）、阿武隈川水系、阿武隈川水系（福島県）

事業区分		事業名	市町村名	完成予定 開通目標 年　度	R4事業費 （百万円）	R4事業内容	頁
●主要継続事業							
道路	直轄	国道13号　福島西道路（Ⅱ期）	福島市	R8 ※1,2	3,370	調査設計、用地補償、支障物移転、改良・橋梁工事	P13
道路	直轄	国道49号　北好間改良	いわき市	－	150	調査設計、用地補償、改良工事	－
道路	直轄	国道49号　会津防災	柳津町～ 西会津町	－	290	調査設計、支障物移転、橋梁工事	－
道路	直轄	国道121号　湯野上バイパス	下郷町	R7 ※1	4,520	調査設計、支障物移転、改良・橋梁・トンネル工事	P13
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策 （泉崎地区事故対策）	泉崎村	－	160	用地補償、改良工事	－
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策 （矢吹地区事故対策）	矢吹町	－	156	用地補償、改良工事	－
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策 （国見地区付加車線整備）	国見町	－	122	用地補償、改良工事	－
道路	直轄	国道13号　福島13号交通安全対策 （北矢野目交差点改良）	福島市	－	20	調査設計	P14
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策 （山中交差点改良）	郡山市	－	30	用地補償	－
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策 （滝額付加車線整備）	柳津町	－	80	改良工事	P14
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝 （黒岩地区）	福島市	－	60	調査設計、支障物移設、引込連系管路・連系設備工事	P15
道路	直轄	国道49号　福島49号電線共同溝 （亀賀地区）	会津若松市	－	131	調査設計、 本体工事	P15
港湾	直轄	小名浜港 国際物流ターミナル整備事業	いわき市	R10	1,100	防波堤整備	P16
港湾	直轄	相馬港 予防保全事業	相馬市、新地町	－	199	防波堤改良	P16
公園	★ 直轄	国営追悼・祈念施設整備事業	浪江町	R7	464	軟弱地盤対策等	P17

・★の事業は、復興庁からの配分事業である。

・※1:トンネル工事が順調に進んだ場合

・※2:用地買収が順調に進んだ場合

●道路調査の見通し				頁
道路	直轄	国道4号　福島北道路	概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）	－

位置図の出典:地理院地図に事業箇所等を追記して記載

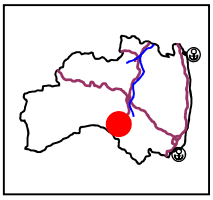
国道4号　福島4号交通安全対策（薄葉交差点改良）

R4：15百万円

開通予定：ー

新規	福島県白河市	道路	直轄

【事業の概要】
白河市郊外に位置する当交差点は、右折レーン延長が不足し、直進阻害による追突事故等が多発しています。このため、右折レーンの延伸等を行います。







▲交差点の状況

【令和4年度の事業内容】 調査設計を実施します。

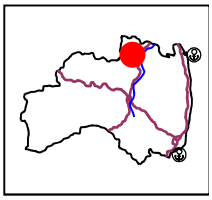
国道13号　福島13号交通安全対策（中野地区事故対策）

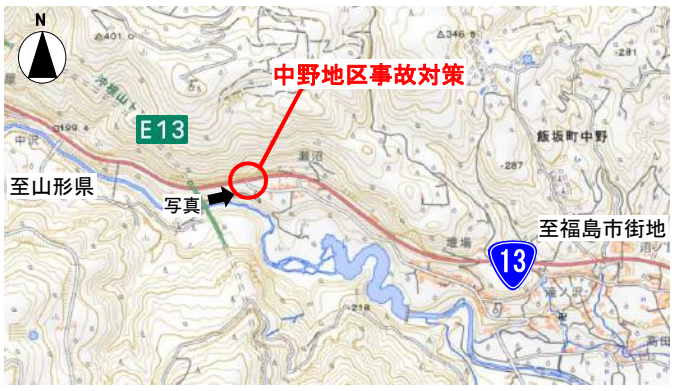
R4：15百万円

開通予定：ー

新規	福島県福島市	道路	直轄

【事業の概要】
　福島市の山間部に位置する当交差点の至福島市街地側は、右折レーンが無く下り勾配で制動が効きづらいため、右折車に後続車が追突する事故等が多発しています。このため、右折レーンの設置等を行います。







▲交差点の状況

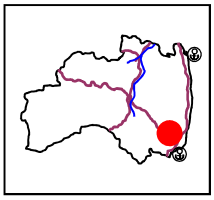
【令和4年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

国道49号　福島49号交通安全対策（好間（よしま）地区歩道整備）

R4：15百万円
開通予定：ー

新規	福島県いわき市	道路	直轄

【事業の概要】
　いわき市郊外に位置し、通学路となっている当区間は、歩道未整備であり、通学児童の安全が確保されていない状況です。このため、歩道整備を実施します。







▲通学時の状況

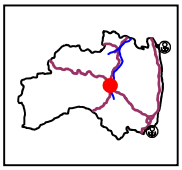
【令和4年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

国道49号　福島49号電線共同溝（富田（とみた）地区）

R4：20百万円
完成予定：ー

新規	福島県郡山（こおりやま）市	道路	直轄

【事業の概要】
　富田（とみた）地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道49号の電柱状況

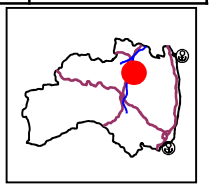
【令和4年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

福島第2地方合同庁舎整備事業

R4：1,005百万円

完成	福島県福島市	営繕	直轄

福島第2地方合同庁舎の入居予定官署の現在の庁舎において、老朽化、業務の多様化や業務量増大による狭あい及び耐震性不足の問題を有していることから、新しい庁舎を整備します。





点在する既存庁舎を集約・立体化することにより国有財産の有効活用を図るとともに、福島市のまちづくりへの寄与、地域連携の促進を図ります。

新庁舎
（外観イメージ）



事業概要

敷地面積	4,698 ㎡	構　　造	鉄筋コンクリート造
規　　模	6 階建て	延床面積	6,548 ㎡
入居官署	福島財務事務所、福島地方気象台、福島労働局、自衛隊福島地方協力本部、東北公安調査局福島駐在官室		

阿賀川　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井地区））

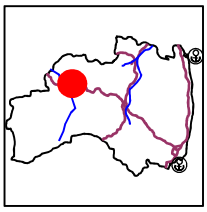
R4事業費:409百万円※

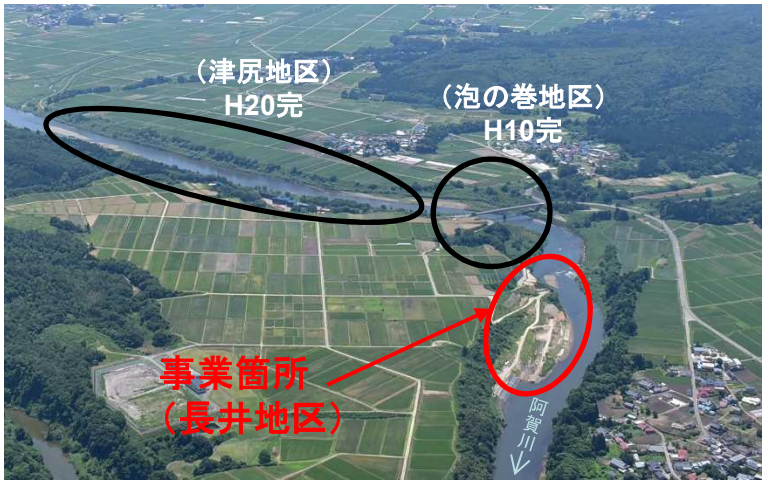
完成予定R7

継続	福島県喜多方市	河川	直轄

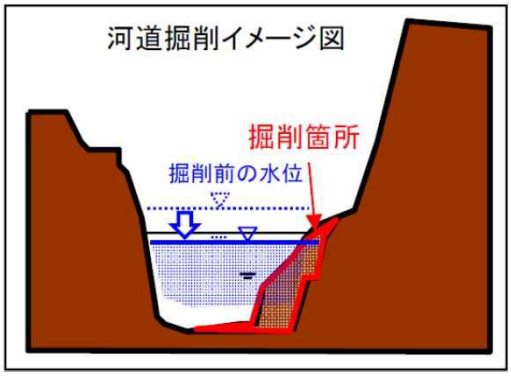
※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。





河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。



滝坂地区直轄地すべり対策事業

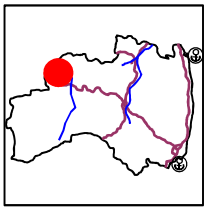
R4事業費:578百万円※

完成予定R10

継続	福島県耶麻郡西会津町	河川	直轄

※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

滝坂地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により大規模な水害・土砂災害が発生してしまう危険性があるため、重点的に地すべり対策を実施しています。





滝坂地区地すべりの全景

地すべり対策事業の推進により土砂災害に対する地域の治水安全度の向上を図ります。



S33年頃
引牧の住居軒下の開口亀裂



H6年頃
袖ノ沢地区の地割れ

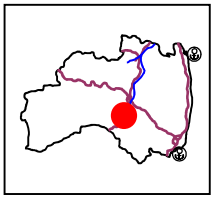
阿武隈川水系　玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり

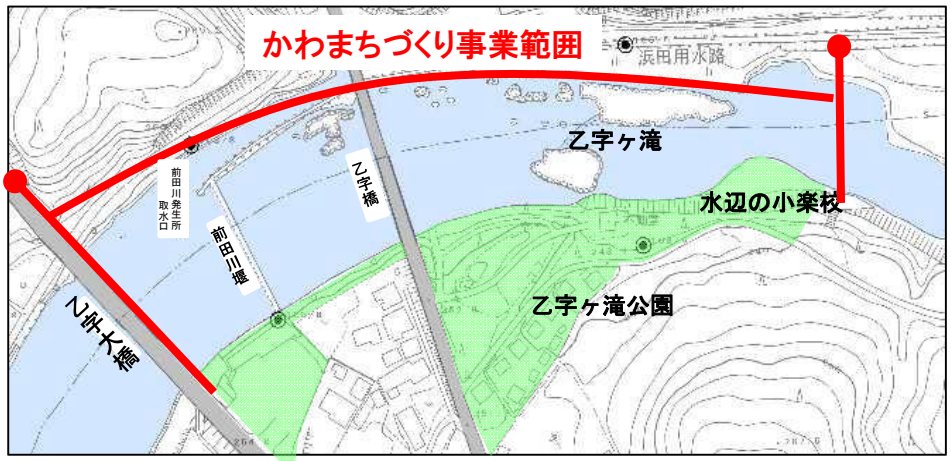
R4：151百万円※
完成予定：R12

継続	福島県石川郡玉川村	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

玉川村乙字ヶ滝では、乙字ヶ滝を含めた村内観光拠点の周遊性を高めて、まちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間を創出するため、親水護岸、管理用通路、坂路等の整備を実施します。
令和4年度は、親水護岸、管理用通路の整備を実施します。







▲水辺空間の整備イメージ

親水護岸、管理用通路を整備することで、村内の歴史・文化資源から川への回遊性の向上が図られます。

※図の事業範囲の旗揚げ及び赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており、令和4年度予算の事業範囲のみを示すものではありません。

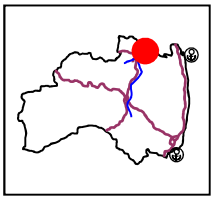
阿武隈川水系　桑折地区かわまちづくり

R4：151百万円※
完成予定：R10

継続	福島県伊達郡桑折町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

桑折地区は、阿武隈川堤防により守られている特産品の“桃”の生産地と農業振興拠点をウォーキングや自転車、カヌー等で回遊性を図り、賑わいのある水辺空間を創出するため、高水敷整正や護岸等の整備を実施します。
令和4年度は、高水敷整正、坂路工等を実施します。







▲　整備イメージ

自転車、カヌー等で回遊性を図り、賑わいのある水辺空間を創出し、地域交流の活性化が図られます。

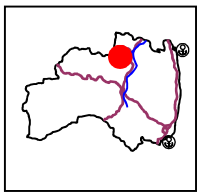
阿武隈川水系直轄砂防事業（塩の川第8砂防堰堤）

R4：890百万円※
完成予定：R5

継続	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系（福島県・山形県）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、渓流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和4年度は管理用道路整備を実施します。







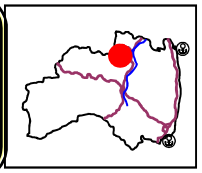
阿武隈川水系直轄砂防事業（前川第１砂防堰堤）

R4：890百万円※
完成予定：R8

継続	福島県福島市～山形県米沢市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系（福島県・山形県）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、渓流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和4年度は砂防堰堤を整備します。





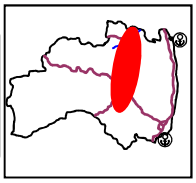


（参考）阿武隈川上流 河川大規模災害関連事業

（R3補正予算事業費）
5，626百万円

継続	福島県伊達市、桑折町、国見町、福島市、本宮市、郡山市、須賀川市、玉川村、鏡石町、矢吹町	河川	直轄

令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が発生するなど、流域全体で甚大な浸水被害となったことから、本川・支川の抜本的な治水対策を推進します。



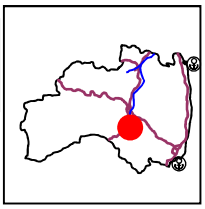


国道4号　矢吹鏡石道路

R4：100百万円
開通予定：　ー

継続	福島県西白河郡矢吹町～福島県岩瀬郡鏡石町	道路	直轄

国道4号　矢吹鏡石道路は、国道4号の交通混雑の解消や交通事故の減少、物流の効率化等を目的とした4車線拡幅事業です。







▲国道４号　通勤時間帯の渋滞状況

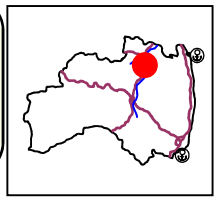
矢吹鏡石道路の整備により、交通混雑の解消や交通事故の減少、物流の効率化が図られる事等が期待されます。

国道4号　伊達(だて)拡幅

R4：880百万円
開通予定：R5

継続	福島県伊達市(だて)～伊達郡(だて)国見町(くにみまち)	道路	直轄

国道4号　伊達拡幅は、伊達市～国見町における交通混雑の緩和や交通安全の確保等を目的とする4車線拡幅事業です。







▲国道4号の交通混雑状況

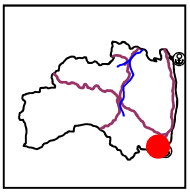
伊達拡幅の整備により、交通混雑が緩和され、円滑な交通の確保が期待されます。

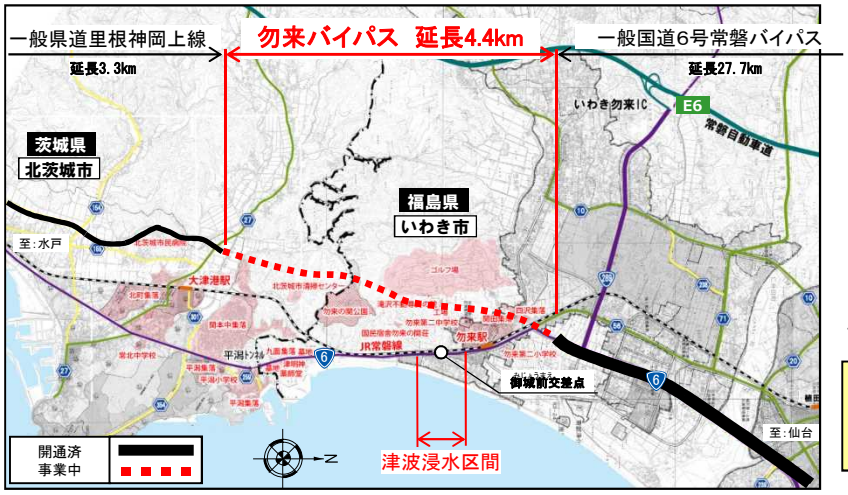
国道6号　勿来(なこそ)バイパス

R4：3,100百万円
（福島県）
開通予定：ー

継続	茨城県北茨城市(きたいばらき)～福島県いわき市	道路	直轄

国道6号　勿来バイパスは、国道6号の茨城・福島県境における津波浸水区間の回避と渋滞緩和等を目的とする道路です。







▲国道6号（御城前(みしょうまえ)交差点付近）の渋滞状況

勿来バイパスの整備により、津波浸水等の災害リスクを回避するネットワークが確保できます。

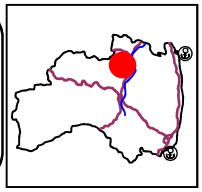
国道13号　福島西道路（Ⅱ期）

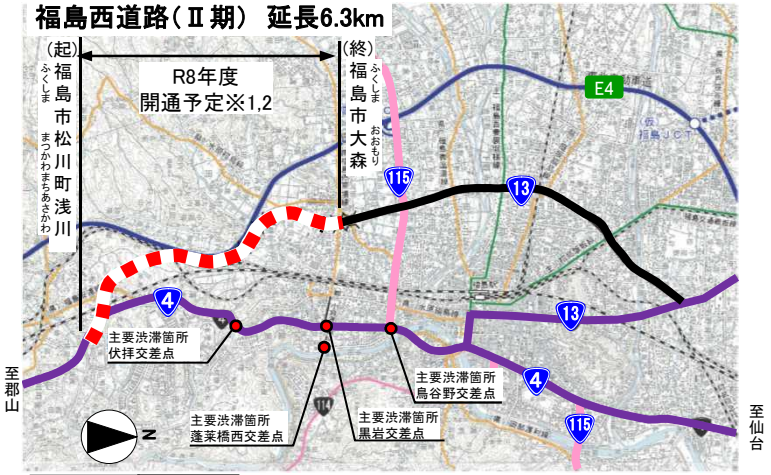
R4：3,370百万円

開通予定：R8 ※1,2

継続	福島県福島市	道路	直轄

国道13号　福島西道路（Ⅱ期）は、国道4号の福島都市圏南部の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害に強い道路ネットワークの確保等を目的とする4車線道路です。





※1　トンネル工事が順調に進んだ場合
※2　用地買収が順調に進んだ場合



▲国道4号の混雑状況

福島西道路（Ⅱ期）の整備により、交通の分散による国道4号の渋滞緩和、急勾配区間の回避による交通事故の削減が期待されます。

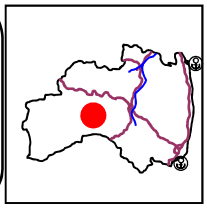
国道121号　湯野上（ゆのかみ）バイパス

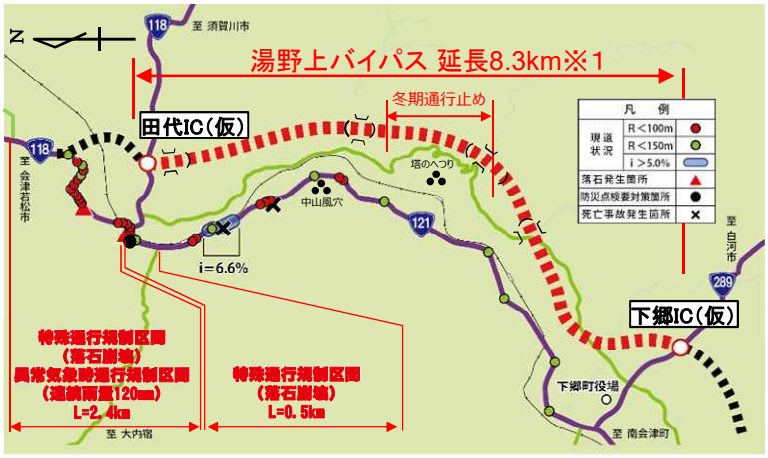
R4：4,520百万円

開通予定：　R7年度※1

継続	福島県南会津郡下郷町（みなみあいづ　しもごうまち）	道路	直轄

国道121号　湯野上（ゆのかみ）バイパスは、地域高規格道路「会津縦貫南道路（あいづ）」の一部を構成し、並行する国道121号の通行規制区間解消等を目的とした幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





※1トンネル工事が順調に進んだ場合



▲国道121号の落石状況

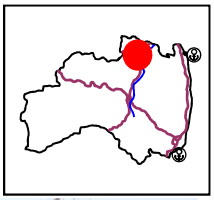
湯野上バイパスの整備により、災害時のリダンダンシー確保や速達性向上等が図られます。

国道13号　福島13号交通安全対策（北矢野目（きたやのめ）交差点改良）

R4：　20百万円
開通予定：ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

【事業の概要】福島市中心部付近に位置する当交差点は、交差点面積が大きく、交差点内で動線が錯綜し、多様な事故が発生しています。このため、交差点のコンパクト化を実施します。







▲交差点の状況

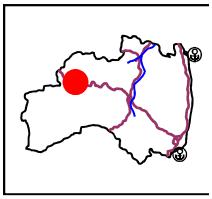
【令和4年度の事業内容】調査設計を実施します。

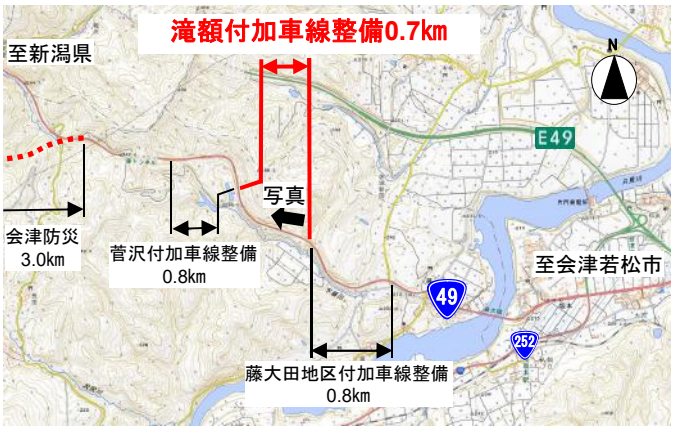
国道49号　福島49号交通安全対策（滝額付加車線整備）

R4：80百万円
開通予定：ー

継続	福島県河沼郡（かわぬま）柳津町（やないづまち）	道路	直轄

河沼郡柳津町郊外に位置する当区間の至新潟県側は、急勾配のため、大型車の速度低下や、冬期の車両スタック等が多発しています。このため、付加車線整備を実施します。







▲スタック状況

付加車線整備により、交通事故削減と交通の円滑化が図られます。

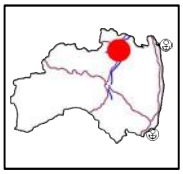
【令和4年度の事業内容】 工事を実施します。

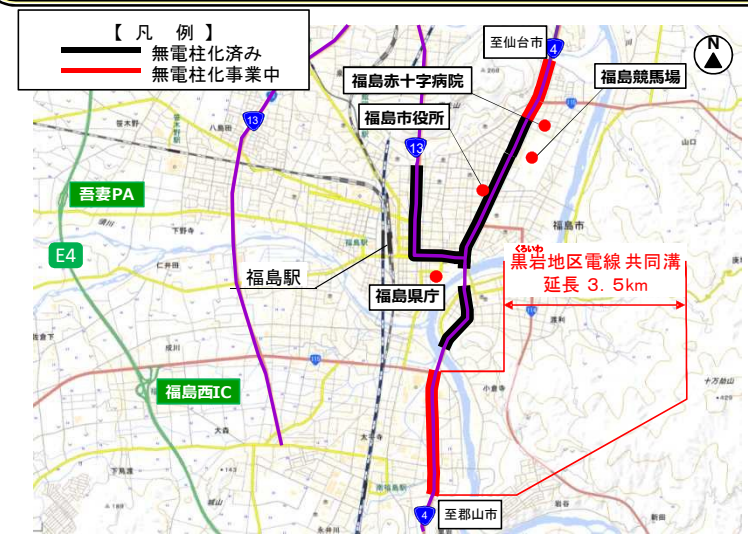
国道4号　福島4号電線共同溝（黒岩地区）

R4：60百万円
完成予定：　ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

黒岩地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。





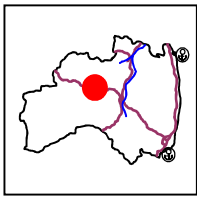


国道49号　福島49号電線共同溝（亀賀地区）

R4：131百万円
完成予定：　ー

継続	福島県会津若松市	道路	直轄

亀賀地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道４９号の電柱状況

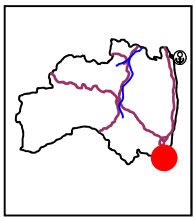
電線共同溝の整備により、災害時における緊急輸送道路の確保等が図られます。

小名浜港　国際物流ターミナル整備事業

R4：1,100百万円
完成予定：R10

継続	福島県いわき市	港湾	直轄

小名浜港において防波堤の整備を推進し、港内に避泊水域を確保し、荒天時における沖合航行船舶の海難事故の減少を図るとともに、港内の静穏性向上を図ります。







▲防波堤整備の様子（ケーソン(※)据付）
※ケーソン：防波堤を形成するコンクリートの箱

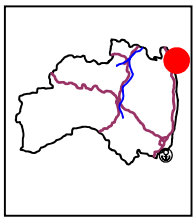
防波堤整備を推進し、港内の避泊水域及び静穏性の確保を図ります。

相馬港　予防保全事業

R4：199百万円
完成予定：ー

継続	福島県相馬市、新地町	港湾	直轄

相馬港において防波堤(沖)の改良（かさ上げ等）を推進し、頻発化・激甚化する台風に伴う高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。







▲荒天時における防波堤(沖)での越波の様子

防波堤（沖）改良を推進し、高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。

国営追悼・祈念施設整備事業

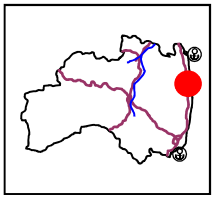
R4：464百万円

完成予定：R7

継続	福島県双葉郡浪江町（ふたばぐんなみえまち）	公園	直轄

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、福島県との連携のもと、県が整備する「福島県復興祈念公園」の中に、国営追悼・祈念施設を整備します。

令和4年度は、軟弱地盤対策などの工事を実施します。







当施設の整備により、東日本大震災で犠牲となったすべての生命への追悼と鎮魂の場、震災の記憶教訓を後世に伝承する場などが形成されます。